

三次市立三次小学校 授業実践

○学年・教科 第4学年 算数科

○単元名 「小数のかけ算とわり算を考えよう」

○本時の目標 ・小数×整数の計算の仕方について、0.1Lをもとに考え、説明することができる。

○事前の検討から

<児童の実態から予想されるつまずき>

- ・0.2×6の答えがなぜ1.2になるのかという数のしくみを基にして説明することが難しいのではないかな。
- ・何のことを話しているかが理解できず、話し合いに参加できない児童がいるのではないかな。

<イメージ化の手立て>

- ・具体物を用意することで、小数の計算の意味を理解し、計算の方法を考えられるようにする。
- ・0.2×6のカードを用意し、計算の仕方が説明しやすいようにする。

<伝え合いの手立て>

- ・全員が課題に向かって考えられるようにグループ活動の時間を多くする。
- ・ペアやグループ学習を取り入れ、自分の考えを伝える機会を多くし、自信がもてるようにした。

○授業について

- ・既習内容の確認を行った。小数のかけ算の立式へとつなげていきました。



- ① 1Lが6個分 → ② 1×6
 ① 0.2Lが6個分だと…?
 → ③ 0.2×6

具体物があることで、すべての児童が立式でき、答えの見通しをもつことができました。

- ・0.2×6は、どうやって計算したらいいかな? グループでの話し合いがスタートしました。



- ④ 0.2の0を隠して…
 ④ 0.2を10倍してから…
 ④ ノートに書いておこうと。

- ・グループ内で様々な意見が飛び交いました。
- ・普段学習に向き合えない子が、自分から意見を伝えている姿も見られました。
- ・ホワイトボードがあることで、話している内容が確認でき、身を乗り出して聞こうとする子もいました。



・みんなでどんなことを話し合ったか、説明しました。



- ① 0.2 × 6 の 0. を隠し、2 × 6 を計算した後、「0.」をつけるというやり方
 - ② 0.2 を 10 倍し、答えを 10 分の 1 にするやり方
 - ③ 0.1 が 2 × 6 = 12 だから 0.1 が 12 個分と考えるやり方
- ・児童から 3 種類の計算の仕方が出てきました。

・みんなの発表で共通している部分はどこか、考えました。



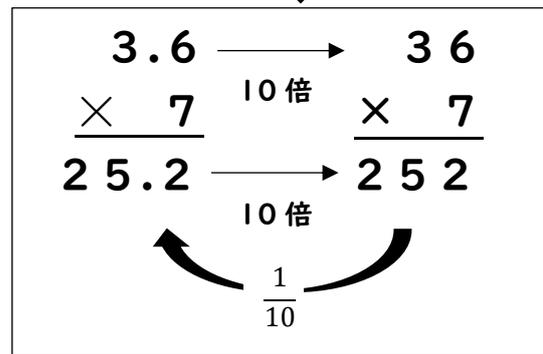
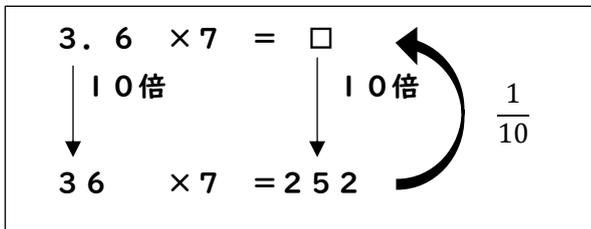
- ・全体交流後、「0.2 × 6」は「2 × 6」をもとにしていることに気付くことができました。
- ・子どもたちの理解を深めるために、「2 × 6」の「2」は「0.1 が 2 こ」であることを具体物で示し、まとめました。
- ・小数のかけ算も、整数のかけ算を使って計算ができることが分かりました。

○単元のゴール

・本時で学習したことは、次時への学習へとつながっていきました。

「0.2 × 6」の考え方と同じように考えると、「3.6 × 7」は…

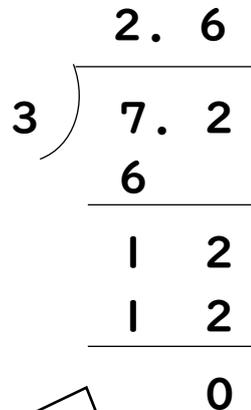
筆算でも、「0.2 × 6」の考え方が使える！



・小数のわり算を考える時も、整数のわり算を基にして考えることができることに気付きました。

水が 6L あります。
この水を 3 人で等分すると、
1 人分は何 L になりますか。
式 $6 \div 3 = 2$ 答え 2L

整数のわり算



水が 3.6L あります。
この水を 3 人で等分すると、
1 人分は何 L になりますか。

小数のわり算

小数のわり算の筆算も整数のわり算の筆算と同じように考えたらいいね。